

アジア政経学会 2014年度第1回理事会 議事録

- 1.日時 2014年4月12日(土) 16:00~18:00
- 2.会場 東京大学本郷キャンパス 赤門総合研究棟5階センター会議室(社会科学研究所)
- 3.理事・監事総数 25名(理事23名、監事2名)
- 4.出席者 21名(理事:磯崎、大橋、梶谷、金子、川島、巖、小嶋、清水、高橋、高原、竹中、田村、永井、中溝、平岩、松田、丸川、三重野、渡邊、監事:滝口、佐藤)
- 5.陪席 2014年度東日本大会開催校責任者武田泰裕会員
- 6.議長 竹中理事長

6.議事

(ア) 16時00分に竹中千春理事長が議長席に着き、開会を宣言、総務担当・川島真理事から、本日の欠席者が4名にて、定足数12名以上を満たしているため、本理事会は有効に成立する旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として、丸川氏、川島氏の二名、滝口、佐藤の両監事を指名し、いずれもこれを受諾した。その後、議案の審議に入った。

(イ) 前回(2014年3月28日)の理事会議事録の確認をおこなった。

(ウ) 今回は秋の東日本大会の開催校の責任者である武田康裕会員も参加する旨、紹介された。

◆ 議案1 法人関連業務について

[川島]〈資料①〉

川島理事より、法人関連業務がほぼ終了した旨、説明された。その上で、今回十数点の書類を作成することになったが、こうした業務に関して、日本国際政治学会などの他の学会では司法書士等に一任されていることに鑑みれば、今後アジア政経学会でも外部委託に関して検討すべきだと提案された。これに対して、竹中理事長からは一連の業務に従事してくれた全ての関係者に対して謝意が述べられると共に、今後はなるべく理事の負担を減らすように努力すべきであり、どのような形で分担していくかについては検討を続けていきたいとの指摘が行われた。

◆ 議案2 2013年度事業報告について

[川島]〈資料②〉

川島理事より、2013年度の実業報告が提出された。同報告書は理事会の総意として承認された。

◆ 議案3 2014年度事業計画について

[川島]〈資料③〉

川島理事より、2014年度の実業計画書が提出された。これに対して、竹中理事より学会賞の選定を主要実業として明記するよう、指示された。竹中理事の指示を踏まえ修正され

た事業計画は、理事会の総意として承認された。

◆ 議案 4 及び議案 5 2013 年度決算及び 2014 年度予算計画について

[小嶋] 〈資料④、⑤〉

小嶋理事より、2013 年会計報告及び 2014 年度予算計画に関して報告が行われた。特に 2013 年度に関しては『アジア研究』を 1 回しか発刊せず、また名簿も更新しなかったにもかかわらず、赤字となったことが指摘された。また 2014 年度の計画では、2013 年度以上に赤字になる予定であることが指摘され、長期的には、赤字体質の改善を考える必要がある旨、提案された。これに対して、竹中理事長からは、十分に財政的なコストの削減を図りながらも、各理事の努力を評価し、必要経費は惜しむことなく、とりわけ学会の重要業務である学会誌の刊行は必ず行うべきであると指示された。その上で、学会誌と J-STAGE に関しては、外部資金の獲得も視野に入れるべきと提案された。また、請求や納入の方法や会員への連絡時期などの工夫により、会費の未納状況を改善するよう、指示された。また、会員へのサービスは維持・向上させるべきだと指摘された。

◆ 議案 6 2013 年度西日本大会について

[永井]

永井理事より、2013 年度の西日本大会開催に関する最終報告が行われた。その際、学会の共通論題での報告に関するテープ起こしの費用を学会より拠出して欲しいとの提案があった。これに対して、竹中理事長は同提案を承認し、詳細は小嶋理事が担当するよう指示された。また、大会マニュアルに改訂に関して、金子理事を中心に対応し、後期の東日本・西日本大会に間に合うべく、2014 年 7 月の理事会までに案を作成されることが決定された。

◆ 議案 7 2014 年の大会について

[竹中]

(1) 全国大会

[加茂] 〈資料⑥〉

加茂理事より、2014 年 5 月 31 日、6 月 1 日の日程で開催すべき準備している旨、報告された。その際、(1) 施設使用料の支払い、(2) 託児所の利用費を、学会に負担して欲しいとの提案が行われた。また、通訳費用に関しては、慶應義塾大学より助成を得られた旨、報告された。竹中理事長は、加茂理事の提案に同意した。その他、藤沢キャンパスへの交通手段と日曜日の昼食準備への懸念が加茂理事より指摘された。これに対して、竹中理事長は、学会 HP やメールを利用し、会員に広く告知するよう指示した。

また、高橋理事より、大会のプログラムに関する説明が行われた。竹中理事長からは、理事会・評議員会は同時開催することに鑑みて、討論者・司会をなるべく評議員にお願いしてほしいという依頼があった。

(2) 東日本大会

[武田] 〈資料⑦〉

防衛大学校での開催責任者武田会員より、東日本大会の開催校案が説明された。その際、防衛大学校の特殊な性格に鑑みて、企画と参加希望会員の名簿を早めに固めて貰いたい旨、要請が行われた。竹中理事長が以上の要請を重視し、東日本大会の準備は例年以上に早めに行うよう、指示した。また、通常の研究大会は一般に公開しているが、今回の東日本大会に関しては、開催校の性格上、会員以外には公開しない方針が決定された。

(3) 西日本大会

[三重野] (資料⑧)

三重野理事より、本年度の西日本大会は京都大学が担当することが決まった旨、報告された。特に、(1) 会場は吉田のメインキャンパスとし、地域研究部局が支えること、(2) 施設使用料として 16 万円弱を要すること、などが報告された。三重野理事と中溝理事が開催の責任者を分担することが決定された。

◆ 議案 8 J-STAGE の登録について

[丸川]

丸川理事より、配付資料に基づいて、『アジア研究』誌の J-STAGE への搭載作業の進捗状況が説明された。現在は学会サイトに搭載されている同誌のファイルを、J-STAGE に移す作業を 3 月から開始し、目下第 11 巻までがアルバイト一名と丸川理事によって移されているが、英文要約などのある新しい号の移管については中西印刷に依頼したい旨提案され、承認された。

◆ 議題 9 『アジア研究』の編集状況について

[山本・松田]

山本理事が欠席のため、川島総務担当理事が報告内容を代読し、本年 6 月の全国大会については共通論題の内容で特集号を作ることを検討すべき旨提案され、承認された。

松田理事より、書評原稿については前委員会からの引き継ぎ分が 4 本あり、さらに 1-2 本が追加される予定であり、その後新規で 2 本集まったため、次号の掲載には問題ない旨報告があった。

◆ 議案 10 ニュースレターの編集状況について

[清水]

清水理事より、近刊の 41 号が来週刊行され、追悼文や大会記などが掲載されることと、次号は 9 月を予定している旨報告があった。

なお、国会図書館にニュースレター第 38、39、40 号が納められていないことについて、納入の可否について議論されたが、法的にオンライン版のデータ納入義務があるという観点から、納入することが決定された。

◆ 議案 11 ホームページの更新について

[加茂・梶谷]

梶谷理事より、加茂理事の協力で入会案内やフォームは英語版ができた旨報告があった。

◆ 議案 12 定例研究会について

[巖・磯崎]

巖理事より、昨年度の定例研究会の開催状況について、10月の理事会で年3回程度開催が決定されたが、2月の会が大雪で中止となり、2回の開催となった旨報告があった。また、今年度は理事会のうち3回程度で開催を目指したい旨報告があった。

これに関連し、竹中理事長より、本日も理事会前に研究会が開催されたことは意義深く、今後も報告者の方々に研究大会での報告やアジア研究への投稿に取り組んでもらえるようご指導をお願いしたい旨の依頼があった。

◆ 議案 13 国際交流

[園田]

川島総務担当理事より、園田理事作成の資料に基づいて、2014年度全国大会での国際セッションの準備状況について報告があった。

◆ 議案 14 優秀論文賞選考委員会の件

[大橋]

大橋理事より、優秀論文賞受賞者が現時点で未決定であるため、理事会後に開催される選考委員会での決定を5月の持ち回り理事会（稟議）で審議する旨提案があり、承認された。

◆ 議案 15 入・退会者について

[川島] 〈回覧資料〉

川島総務担当理事より、回覧資料に基づき、入・退会者の報告があり、入会者9名、復会者0名、再入会者1名、退会者5名、逝去者1名、が承認された。なお、二名の会費優待申請は申請され、年度末退会者の名簿14名分も回覧された。

◆ その他

- (1) 川島総務担当理事より、深川評議員が一身上の都合で辞職したので受理したい。また、欠員の補充は行わない旨提案があり、承認された。
- (2) 川島総務担当理事より、評議員会は本年5月31日に理事会と開催したい旨提案があり、承認された。なお、事業報告書、事業計画書は本日承認されたが、評議員会に提出する事業報告書とともに、財務関係書類についても、持ち回り理事会にて理事会の承認を得ることが確認された。同書類は理事会での承認を経て評議員にも事前に回覧される。
- (3) 竹中理事長より、地域研究会連絡協議会代表を丸川理事に引き継いだことと、同協議会ニューズレターにアジア政経学会から理事長から提出された活動報告が掲載される旨報告があった。
- (4) 竹中理事長より、クラウドディア・ディーリッヒ・ドイツアジア学会会長より10月にベルリンで開催されるアジア学会に招待されたので、参加する予定である旨報告があった。また、デンマークのコペンハーゲン大学アジア研究所とストックホルムのヨー

ロッパ日本研究所にて、アジア研究の国際的な連携をめざして講演を行なった旨報告があった。

以 上

竹中理事長が午後 6 時 41 分、閉会を宣言して審議を終了した。
